
それから . . .

K2

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

それから・・・

【Nコード】

N9143C

【作者名】

K2

【あらすじ】

「わかっている、けれど・・・」の希楽のその後の恋を描いたSTORY。

（前書き）

この物語は、前作「わかっている、けれど・・・」の続きとなっています。

「七瀬 最近さ、希楽にあってる?」

「空史なら、この前 来てたよ」

「俺が仕事の時?」

「そつ仕事の時」

「ふーん」

希楽とは、この間のことであってから1度も会ってない。

「そうそう 空史さお前に惚れてたんだろ?」

「うん」

「けどな その日ちょうど時と会って惚れた とか言ってたぞ」
城戸 時「きど とき」

18歳 主に情報収集などの仕事をしている 団の1人

「マジで?」

「サボリ?」

「うわっ!ビビった 時かよ」

ニコツと笑って、俺の隣に座る。

「時もサボリ?」

「そお サボリ ココっていいーよな」

ココは、倉庫として使われている部屋の前の廊下

人どつりも少なく木や草などが陰になっていて、遠くからではばれない。

「俺 みずふうせん 買って来たから、夜 恭二も

呼んでヤロツか」

「いいね みずふうせん 夏じゃねーけど」

「時 昨日 屯所にいなかったろ」

「あれ?ばれてた?」

「ばれてた 沖田さんには、言ってるねーよ」

「よかった 団長ウルセーもんな」

「おーポテチ」

俺と時が話している横でコンビニの袋をあさる七瀬。

「ちよっそれ俺が買って来たヤツ」

「これ 新商品のチョコじゃね？」

「もう いいや、食べる？」

「くう」

「・・・」

3人で 時の買って来た お菓子を食べる。

「平和だな 今日」

「時 昨日どこ行ってたんだ？」

「んゝ 希楽さんに呼び出された」

「空史 手え出すのハヤッ」

「まだ H してねーよ」

「ウツソ」

俺と七瀬がハモる。

「何 2人して」

「いや だって絶対 空史手え出すのはえーもん」

うんうんとうなづく俺

「マジで？希楽さんってそんななんだ」

「マジでそんなだよ」

「ふーん」

風が吹く。

「ねむてー」

ゴロンと寝転ぶ

「げっ！！」

俺の声に2人も振り向き 青ざめる。

「沖田さん」

「楽しそうだな 仕事は？」

すでに、刀が向けられている。

「オフです！」

「なんで、団服？」

「オフでも仕事の気分でいたいくらい この団を愛しているからです！！」

「ほゝ で？」

「「「仕事行ってきますそれではっ！！！！」」「」

3人で その場を走って逃げる。

希楽が落ち込んでなくてよかった。

終劇

（後書き）

最後まで読んでいただきありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9143c/>

それから・・・

2010年10月14日12時48分発行